

2015（平成27）年度 事業報告

社会福祉法人山鳩会
なごみの里【就労継続支援B型】

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するためお互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）コンセプト（平成26年度～平成28年度）

地域で豊かに生きていくために

- ・心身共に健康で
- ・応用的生活技術の向上に努め
- ・自己選択 できるよう 個々に合った支援をしていく

（3）基本方針

- ① 自治活動などを通し、主体的に考え意見することで実現していく経験を培う。
 - ・お茶会や旅行の行先、仕事や工賃の仕組みなどプロジェクターを使用して分かりやすく行った。
- ② 生産活動の充実を図り、働く事に自信をもって頂けるよう努める。
 - ・個々の役割分担を通して、働く意識を高める事ができた。
- ③ 利用者・保護者の気持ちに寄り添い、信頼と満足の頂ける支援を行う。
 - ・保護者会や参加行事を通して、情報交換以外にも個別に対応し、利用者の支援につながった。
- ④ 年齢や性別に応じた検診により大病の予防に努め、豊かな地域生活を少しでも長く楽しめるよう支援する。
 - ・さまざまな検診により健康が維持された。又、健診結果を確実に通院に結びつける事ができた。
- ⑤ 応用的生活技術向上のため、個別または小グループでの支援を提供する。
 - ・宿泊など小グループで行動し、それぞれのニーズに応じた支援ができた。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
(2) 利用定員 40名（平成27年度利用者数41名）
(3) 開所年月 平成21年4月
(4) 施設規模 敷地面積 433.24㎡
延床面積 494.9㎡
建物構造 鉄骨造り二階建て
賃貸区分 民間より賃貸

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名 ※
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	5名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名 ※
支援員（非常勤職員）	6名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
運転手（非常勤職員）	1名
合 計	14名

(2) 嘱託

医師（4回／年）	1名 ※
看護師	0名
理学療法士（1回／月）	1名
作業療法士	0名
合 計	2名

※ 生活介護・就労継続支援（B型）と兼任

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1度	2度	3度	4度	未定	合計
愛の手帳	0名	11名	15名	15名	0名	41名
身障手帳	0名	0名	1名	1名	0名	2名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(2) 年齢構成 (平均年齢37.6歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	1名	8名	6名	6名	2名	3名	26名
女	3名	3名	1名	4名	2名	2名	15名
合計	4名	11名	7名	10名	4名	5名	41名

最低年齢 男…19歳 女…18歳 最高年齢 男…67歳 女…69歳

平均年齢 男…37.1歳 女…35.9歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	国分寺市	調布市	所沢市	清瀬市	東久留米市	合計
36名	1名	1名	1名	1名	1名	41名

(4) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	41	41	
延べ日数	880	920	880	920	920	880	920	880	920	920	720	920	10680
延べ人数	754	775	746	784	744	750	771	748	770	739	670	781	9032
出勤率(%)	85.7	84.2	84.8	85.2	80.9	85.2	83.8	85.0	83.7	80.3	83.8	84.9	84.6

5. 日課

(1) 月～金曜日

時 間	内 容
8:30	出勤
8:30～9:00	体操(ラジオ体操)朝礼
9:00～12:00	作業
12:00～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:30	作業
15:30～15:45	清掃

(2) 土曜日

時 間	内 容
8:30	出勤
8:30～11:30	作業
11:30～12:00	昼食・終礼・帰宅

6. 重点目標

(1) 健康・衛生

- ① 理学療法士等による運動プログラムを、個々が選択し楽しみながら肥満やけがの予防・機能維持ができるよう、機器の導入も含めて提供する。
 - ・エアロバイクにより楽しみながら運動ができ機能維持にも役立てた。
 - 理学療法(栗原 PT) 4/25 5/28 6/24 7/23 8/1 9/12 10/31 11/28
12/26 1/23 2/29 3/30
- ② 昨年度試行したインストラクターによる「らくらくリズム体操」を定期的に行い(6回/年)、楽しみながら身体を動かし、運動への動機づけとしていく。
 - ・利用者が楽しみながら十分に体を動かせた。来年度は年10回に増やす。
 - インストラクター(坪井) 5/12, 7/14, 9/8, 11/17, 1/20, 3/10
- ③ 一般健康診断の他、歯科検診・婦人科検診・耳鼻科検診・前立腺等検診を行い、利用者の健康状態を把握し、家庭や医療機関と連携しながらアフターフォローしていく。
 - ・各検診において通院同行を行いアフターフォローができた。
 - ・健康診断(なごみの里B型事業所にて) 白十字病院健診車他 8/4

マンモグラフィー(白十字病院) 8/19, 25, 26
 - ・耳鼻科検診(片岡眼科) 7/7・14・21・28
 - ・歯科検診…なごみの里にて(折笠 Dr、橋本 Dr) 12/10
 - ・インフルエンザ予防接種(久保クリニック 久保 Dr)…なごみの里にて 11/5
 - ・体重測定、体脂肪測定…月1回初日に測定し、4カ月分の体重、体脂肪、骨量、基礎代謝等のデータをまとめ、各家庭に配布した。
- ④ 歯科衛生士による歯磨き指導を行うと共に、必要な人には口唇体操など専門職のアドバイスを基に個別に対応し、保護者にも口腔衛生の理解を深める。
 - ・利用者だけでなく、職員にとっても口腔衛生についての知識を得られる場となった。
 - ・状態が良くなっている人が多く、成果が表れている
 - ・口腔ケア歯ブラシ指導 11/24 25 27

(2) 応用的生活技術向上のための支援の充実

- ① クラブ活動や各種行事を含む日課の中で、買い物・洗濯・交通機関の利用・身だしなみ・清掃など地域生活に必要なスキルの獲得を支援する。
 - ・公共の場を利用する事で施設の使い方、一般の方との関わりを通じ学ぶ事が多くあった。
 - ・グループ意識をもって行動できた。必要なスキルが何かをクラブや行事を通して考え、実行する事ができた。
- ② 利用者を取りまく支援者、関係機関を活用し相互に連携していく。
 - ・市・区など多方面からトータルで支援する事ができた。
 - ・口腔ケア歯ブラシ指導 11/24 25 27

(3) 生産活動

① 稼働作業種目

	作業種	作業内容	受注・納入先	稼働日	参加	27年度収入	26年度収入
外 作 業	回収	古紙回収	地域各所、 都営団地他	週2～4回	2名	1,942,820	1,616,407
	公園 清掃	中央公園・浅間山公園	西武・武蔵野パートナーズ	月6回	7名	1,334,010	1,230,600
	水やり	花の水やり、草取り	白十字ホーム	随時	3名	109,830	140,160
室 内 作 業	受注 作業	新光	(株)新光	随時	全員	36,750	37,000
		ショッピングバッグ製作	(有)鈴木紙工	随時	全員	936,843	680,312
		箱組み立て	(有)小沢加工所	随時	全員	642,759	831,628
		ハイライト工業	ハイライト工業(株)	随時	全員	14,784	20,700
		カマタ	(株)カマタ	随時	全員	197,510	0
自主 製品	ごませんべい ソースせんべい	市役所・富士見公民館 みどりの森ミニバザー、 清瀬特支学校、各イベント	週2～3回	8名	989,040	794,530	

② 工賃支払実績

	総額	平均額	最高額	最低額
4月	435,010	11,757	23,310	2,820
5月	459,040	11,770	26,296	1,610
6月	368,010	9,436	20,413	1,170
賞与	204,000	5,368	12,000	2,000
7月	350,050	9,211	19,500	1,740
8月	350,010	8,975	16,610	1,220
9月	350,000	8,974	17,280	1,220
10月	350,000	8,974	18,850	1,460
11月	350,000	9,211	16,400	2,230
12月	400,000	10,256	21,730	1,160
賞与	620,000	16,315	50,000	2,000
1月	450,000	11,538	25,380	1,180
2月	450,000	11,842	25,540	2,780
3月	450,010	11,539	24,950	1,200
合計	5,586,080	145,166	318,259	23,790

③ 自主製品のごませんべいに加えソースせんべいの販路拡大を行うと共に、保護者の協力を得て、アクセサリーの製作・販売を試行していく。

- ・新商品の開発・販路拡大により、全7種類のせんべい販売売上は倍増した。
- ・アクセサリーは行事や施設での販売が中心だった、保護者宅のハーブの提供でバスポプリの製作、好評だった。

④ ニーズに応じて短時間雇用などの開拓・支援を行う。また就労先と連携しすぐにフォローできる態勢を整えていく。

- ・実習は行えたが雇用につながらなかった

(4) 給食

- ① 嗜好調査や自治会での意見を、日々のメニューやイベント等に反映させる。
 - ・嗜好調査は年1回保護者、利用者、職員を対象に実施し、リクエストメニューの参考にした。リクエストメニューは2月26日実施。
- ② 季節のイベントに合わせ（夏祭り・クリスマス）装飾や演出を工夫し、地域や保護者と共に楽しめる機会を提供する。
 - ・打ち合わせ等で事前に保護者・利用者と飾り付けを工夫したり、装飾品購入をして行事を盛り上げ、楽しめるようにした。
- ③ 楽しい食事であるよう、選択できる2種類のメニューと、自由でゆったり食べられる環境を提供する。
 - ・選択メニューは定着しており週3回の選択メニューとし、その他はリクエストメニューで対応していくようにする。

④ 栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
						B1	B2	C
計画	663kcal	24.6g	96.4g	18.1g	108mg	0.41mg	0.30mg	0.36mg
実績	889kcal	21.1g	127.8g	24.7g	258mg	0.47mg	0.53mg	38mg

(5) 自治会活動

- ① 行事やクラブ活動、お茶会だけではなく、日課に関わる全てに対し主体的に意見や希望を伝え、実現していく機会をつくる。（月1回定期開催の他、必要に応じて開催する。）
 - ・自治会、各行事の話し合いの場面、個別支援計画においてより意思を伝えられるように支援した。
- ② 自分の意見を伝え、また他者の話を聴く事ができるよう働きかける。
 - ・終礼など、毎日の日課の中で工夫して場面を増やした事で、個々の個別支援につなげる事ができた。

(6) 行事

① 年間行事 日付	内容	場所	目的	人数
4/3	お花見ウォーキング	全生園内	新入所者・保護者との交流、体力増進	40名
6/17	インディペンデンス市学生訪問	なごみの里	インディペンデンス市との交流と相互理解	50名
7/2.3	宿泊旅行「ディズニーリゾート」	浦安市、舞浜	個々の目標達成とテーブルマナーの習得	21名

7/21	グループ外出(ディズニーオンアイス)	代々木第一体育館	ディズニーのキャラクターによるスケートショーを楽しむ	7名
7/11	後援会主催演奏会	なごみの里 食堂	大正琴の演奏を聴くことで音の世界を楽しむ	50名
8/10.28	防災館	立川防災館	災害時を体験し、行動学ぶ	52名
8/8	お楽しみ給食「夏祭り」	なごみの里 食堂	地域と交流し、季節に合わせた給食を楽しむ	60名
9/5	共催バザー	市民センター駐車場	親の会、保護者、他事業所との交流。	40名
10/16	グループ外出(スカイツリー)	浅草スカイツリー	交通機関利用でルールやマナーを学んだ	14名
10/23	日帰り旅行	埼玉県秩父	秩父の自然を堪能し社会人として節度をもって行動する。	12名
11/3	共催運動会	八坂小学校	親の会、保護者、他事業所との交流	30名
11/11~ 13	宿泊旅行「金沢」	石川県金沢市	個々の目標達成と金沢の歴史や文化について興味を深めた	
11/20	G外出「映画と買い物」	越谷レイクタウン	興味のあることを選択し楽しむ	12名
12/25	クリスマス給食会	なごみの里 食堂	1年間の活動発表など、保護者と交流しながら楽しむ	50名
1/11	成人を祝う会	中央公民館	卒業後の節目を祝う	30名
1/29	グループ外出「温泉」	秩父市 農園ホテル	興味あることを選択し、温泉を楽しむ	8名
2/5	バス旅行「いちご狩り」	静岡県沼津市	利用者・保護者・支援員の交流	48名

・グループ外出・・・4グループに分かれて実施

・クラブ活動

・運動（東村山市民ステーションサンパルネ）

4/24 5/8 5/22 6/5 6/26 7/24 8/25 9/11 25 10/6 21 11/6 27 12/15,
1/15 2/24 3/7

・お風呂&カフェ（お風呂の王様）

4/13 5/11 6/8 7/13 8/3 9/14 10/5 11/9 12/14 1/25 2/8 3/14

・カラオケ（シダックス東村山駅前クラブ）

4/22 5/27 6/24 7/22 8/26 9/30 10/28 11/25 12/16 1/27 2/24 3/7

・ボウリング（久米川ボウル）

4/8 5/13 6/10 7/8 8/12 9/9 10/14 11/16 12/9 1/13 2/10 3/9

7. 防災訓練

(1) 防災

① 支援者は全員が普通救命技能を取得すると共に上級講習にも参加を促し、非常時に速やかに行動できるようする。

・防災意識を高めることができた

② 防災計画に基づき月1回の通常訓練・一時避難場所までの避難訓練を行うと共に、防災館を利用し疑似災害を体験する。

・月1回の訓練により防災意識は高くなっている。疑似体験では非常食の試食をした。

③ 防火管理者を中心に定期的な自主点検活動を行う。

- ・定められた業者による点検を行ない、避難経路などに荷物をおかないなど周知した

(2) 事故防止

- ① 安全に過ごすための環境作りについて、工夫に努め、点検・管理を行う。
 - ・外作業時における車両の昇降など、利用者の安全確保に努めた。
- ② 車輛について安全運転管理者を中心に事故防止に努めると共に、定期的なチェックにより車の不良・消耗を確認し対処する。
 - ・チェックリストを作り、定期的にメンテナンスを実施した。
 - ・物損事故1件、事故のないように職場全体での意識をたかめるよう努めた。
(朝礼時の声かけ・仕事内容の精査・体調チェック等の強化)
- ③ 送迎コースの道路状況を定期的に確認し、事故防止に努める。
 - ・送迎担当職員で情報交換を行った。またコースの説明、運転指導を受け、運転に関するリスクのある場所などを把握した。

8. 施設外の方との関係

- (1) 挨拶など日常的な関係を大切にする。
 - ・外出先などでは意識して行う事ができた。施設への来所者に対して課題が残った。
- (2) 地元行事の夏、秋まつりに協力し、地域交流を図る
 - ・各行事に参加して交流が図れた。久米川駅前マルシェの参加(年10回参加)、恩多ふれあいバザー(10/24)

9. 実習生の受け入れ

- (1) 地域の特別支援学校などより実習を受け入れ体験の場を提供する。
 - ・清瀬特別支援学校より 5名(3年生2名、2年生3名)
任意実習 1名
- (2) 大学などの実習を受け入れ障がい福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。(介護体験)
 - ・介護体験 35名×5日

10. 父母会、親の会との連携

- (1) 父母会
 - ①保護者の施設に対する理解を深めるため、2ヶ月に1回保護者会を行う。
 - ・生活介護と別になった為、1ヶ月に1回開催でき、より、情報を共有できた。
 - ②毎月なごみ便りで施設の近況や取り組みを報告し、共通理解に努める。
 - ・G外出や運動会の利用者の感想など写真も多く取り入れて紙面作りをした。
 - ④ 行事や作業への参加を通し、楽しみややりがいを感じていただける機会を提供する。
 - ・夏祭りの商品提供やお手伝い、行事参加による交流等において協力を得た。
- (2) 親の会
 - ①共催行事等を通し、お互いに協力をしていく。
 - ・バザー、運動会、成人を祝う会等実施できた。

1 1. 職員研修

- ①職員個々、行動障害等の知識や支援技術に関して研修などを通してスキルアップを図る。
- ・研修を通し、知識を深めると共に自分の支援を振り返る機会となった。また参加後に、仕事の量を視覚的に理解できるようにするなどなごみでできることに取り組んだ
- ②リスク PT・人権研修等を活かした取り組みを行う。
- ・各施設との連携や共通のリスク事項に関して共有する事ができた。
- 法人研修(年2回)は各事業所共通内容の研修になった。
- 研修での結果を発表、問題提起を行い結論まで話し合う事ができた。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
虐待から福祉	7月28日	東京都発達障害支援協議会 知的障害者部会	国分寺労政会館	松井天平
送迎車輛安全運転講習会	8月5日	一般社団法人日本福祉車両協会	機械振興会館	加藤譲太 北田艶子
人間力UP研修	9月16日	東京都発達障害支援協議会 知的障害者部会	研究社英語センター	白井美樹
福祉施設経営基礎研修 経営初級課程	10月 19・30日	東京都福祉人材センター研修室	社会福祉保健医療研修センター	国米淳子
指導職チャレンジ研修	12月 1~2日	東京都福祉人材センター研修室	日本社会事業大学・文京キャンパス	松井天平
強度行動障害支援学習会	12月17日	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	飯田橋レインボービル	加藤譲太
ひきこもりがちな思春期青春期の特徴と対応講習会	1月13日	東京都多摩小平保健所保健対策課	多摩小平保健所	金子伸一
福祉職員職務階層別管理職員研修	2月2~ 3日	東京都福祉人材センター研修室	東京都社会福祉保険医療研修センター	国米淳子
自閉症支援専門研修会	2月22~ 23日	国立障害者リハビリテーションセンター学院	国立障害者リハビリテーションセンター学院	白井美樹
OJT推進研修	2月23~24 日	東京都福祉人材センター研修室	東京都社会福祉保険医療研修センター	松井天平
OJT推進研修	2月23日	東京都福祉人材センター研修室	東京都社会福祉保険医療研修センター	国米淳子
地域資源と障害者支援のネットワーク	2月20日	東村山市障害者自立支援協議会	東村山市民センター 2階	福山佐知子

1 2. 会議

種 目	回 数	内 容
事業別職員会議	1回/月	行事实施、C対応等について
常勤会議	1回/月	2事業所合同の常勤会議
評価会議	1回/月	アセスメントの見直し
給食会議	4回/年	委託業者への希望、課題等

ケース会議	3～4 ケース ／月	ケース個々について
個別支援計画会議	2回／年	各ケースの支援計画について

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

①担当窓口及び第三者委員を設置し、対応にあたる。

意思が伝わる関係を作り、丁寧に対応する。

- ・保護者・利用者とは日頃から小さなことでも伝えていくことで良好な関係を作っていくことを心掛け、連絡帳などの利用をふやし、必要な時は面談を通して対応した。
- ・道路補修工事の為、通勤路が変更になった事での苦情あり、職員が付き添い対応。

(2) 個人情報保護

情報の重要性を認識し、適切な保護に努める。

- ・シュレッダーの活用、パソコン内のデータ保護、口頭での流出のないように、周知徹底した。

(3) 権利擁護・セクシャルハラスメント防止

各種研修を利用しながら意識を持って取り組む。また担当窓口を設置し、丁寧に対応する。

- ・個々での対応を行っているが、研修を通し職員全体の意識を高めるよう努めた。